スプロートユニバーサル
多岐にわたる商品展開
北恵

北恵(大阪市、北村良一社長)は、階段等の内・外装材や水周り、換気製品など多岐にわたるプライベートブランドを展開している。2018年の売り上げは約19億7200万円(売り上げ構成比3・5%)。今後はリフォーム需要や非住宅市場に対応した商品開発の強化も視野に入れている。

環境、ぬくもり、素材の3テーマからなるスプロートユニバーサル

同社は、1978年に住宅資材を扱うプライベートブランド「スプロート」の販売を開始した。木質建材流通企業では先陣を切ってPB開発に乗り出し、40年以上にわたり、顧客から届く要望を基にした商品作りに取り組んできた。

2004年に名称を現在の「スプロートユニバーサル」に改めるとともに、環境・ぬくもり・素材の3テーマに商品群を分け、より心地良い住宅造りを目指してきた。また、天然木にこだわったプライベートブランド「リラクシングウッド」を02年に立ち上げた。1986年から販売している世界の銘木を使ったムクフローリングを中心に、つや消し塗装や床暖房対応など市場の需要に合わせた商品を展開している。

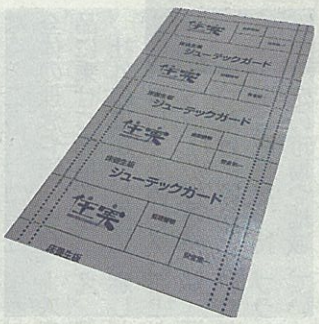
最近の売れ筋は、施設利用者の安全性や職人の施工性に配慮した商品だ。天井材「かる~い天井」と軒天破風一体型板金「シタジレス・ノキハフダーZ」は展示会等でも積極的に提案している。

かる~い天井は、グラスウールの基材に和紙織布を化粧材として採用した。そのため、取り付け材を含めても1平方㍍当たり2㌔㌘以下という軽さで、地震等の災害時に起こり得る天井落下への不安を解消する。不燃性能や音響性能にも優れ、騒音の少ない快適な空間が求められる大学や福祉施設へ採用実績を持つ。

シタジレス・ノキハフダーZは、軒先工事場生産性の向上に貢献する。

住実
求めやすい価格で
ジューテックグループ

ジューテックグループ(東京都、足立建一郎社長)は、2015年11月に副資材や建材のオリジナルブランド「住実」を発売した。



住実で需要の高い養生材。丈夫で複数利用が可能だ

現在の品目数は70強だが、現場で必ず使い、しっかりとした機能を発揮し、求めやすい価格の商品を厳選している。販売は好調で、昨年10月~今年1月は売上高が50%増で推移している。

住実で多くを占めるのは、キッチンパネルや養生材、防水シート、テープ、接着剤などの副資材だ。例えば、接着剤の「住実ボンド」は変性シリコーンタイプでありながら求めやすい価格が支持されている。

雨でぬかるんだ現場にも敷ける樹脂製敷板「タフマット」、特性の違う防水材料を組み合わせたウォーターブロックシステム、人工芝なども引き合いの多い商品だという。

ウォーターブロックシステムは、先張防水シート、ノービルテープ、ブチルテープ、平板転圧ローラーがセットになっており、これら特性の違う防水材料を組み合わせることで外壁の漏水事故を防ぐ便利な商品だ。

戸建て住宅ではデザイン性を重視して、軒や庇のない屋根や一体型バルコニーなどを作るタイプが増え、外壁に雨が掛かりやすくなっているという。そうした住宅にもウォーターブロックシステムは便利に利用できる。

SSD球磨杉・桧
床材・サイディング販売強化
紅中

建材商社の紅中(大阪市、中村晃輔社長)は、熊本県球磨地域と連携し、大径木を活用した付加価値商品を開発してきた。SSD製造法(丸太状熱処理併用複合乾燥法)で球磨材商品を普及させ、構造材だけでなくフローリングやサイディングの販売強化を図る。

SSD製造法とは、伐採直後の大径木を丸太の状態で熱処理して、あらかじめ挽き曲がりや狂いなど木の成長応力を緩和したうえで、芯去りした構造材を人工乾燥する新規開発製法だ。SSD球磨杉・桧柱角「Jポスト」、SSD球磨杉平角「Jビーム」をJAS機械等級区分製材規格で供給する。

また、構造材だけでなく辺材を活用し「SSD球磨杉・桧フローリング」の販売を強化、コシイ・スーパーサーモ技術による高温熱処理を施した「SSD球磨杉サーモサイディング」も販売中だ。

紅中と球磨地域の林業・木材関係者等の付き合いは長く、2008年に品質性能にこだわった国産材普及促進を目的に組織する、国産材品質表示推進協議会(SSDプロジェクト)を立ち上げて球磨材の需要開拓と商品開発を進めてきた。

販売強化しているSSD球磨杉のフローリング材

これらの取り組みが評価され、産地の奥球磨地区が「林業成長産業化地域創出モデル事業」のモデル地域に採択され、その事業推進を目的とした「奥球磨みらいのもり創造協議会」が組織された。地域の関係者と行政で組織する当協議会に、川下の立場で紅中が参画してSCM(サプライチェーンマネジメント)システム構築の要となり、巨大産地と消費地をつなぐ「地産都消」のビジネスモデルの構築に取り組む。

Mokkun
木の香りや環境性能を重視
ヤマガタヤ産業

モックンを活用した木質住空間

ヤマガタヤ産業(岐阜県羽島郡、吉田芳治社長)は、東濃桧などの木粉を使った内装仕上げ材「木の塗り壁Mokkun(モックン)」をはじめ、オリジナル製品の開発と販売展開に取り組んでいる。現在はモックンを使用した「森林浴ルーム」や、モックンの効果を持続させる植物由来の抗菌消臭スプレー「クリーン・エア」、プラモデル風の木製ファニチャー「木it(キット)」をラインアップしている。

モックンは粉末状の塗壁材で、独自技術によりプレカット端材等をパウダー状にした木粉に、でんぷん糊など自然素材を加えて製造する。施工時には水道水とスサを加えて練るだけで、左官材と同様にコテ塗りすることができる。

自然素材のためVOC(有機化合物)を含まず、調湿や消臭、保温の機能や蚊の忌避性能、木の香りや質感による癒し効果、大臣認定取得の不燃性能などが特徴だ。

現在は杉や青森ヒバなど異樹種の木粉タイプも開発済みで、各地の地域材を使った「ご当地モックン」も全国15カ所で製品化している。今後は、ご当地版の事業をさらに拡大するほか、海外での販売にも力を入れていく方針だ。

関連商品の森林浴ルームは木製の小型ルームで、柱や床材に桧材を、壁材にモックンを使用している。家の中で森林浴を楽しめる趣向で、書斎などへの活用を提案している。また、抗菌消臭スプレーであるクリーン・エアは、桧等の葉から抽出したエキスを使用しており、未利用資源の活用を図っている。

昨年8月に発売した木itは、手軽に家具づくりができる新基軸の商品で、国産材活用や木育に貢献する。ムク一枚板にあらかじめ型に沿った切り込みが入っており、つながった部分を切り離して家具パーツを作り、組み立てることで本格的なムク素材の家具が完成する。製造は子会社の板蔵ファクトリーが担当している。

(建材版おわり)

木と生きる幸福
住友林業

地球環境の保護と住環境の充実を目指して
SEIHOKU
セイホク株式会社

TBC TOKYO BOARD GROUP
リサイクリングで地球環境の未来を創る
東京ボード工業株式会社

MDFのことなら
C&H
C&H株式会社
STARWOOD Customwood スターウッド SPF
東京営業課 (03)5823-4441　大阪営業課 (06)6125-5467

廃木材・未利用木材のリサイクル素材パーティクルボード
novopan
日本ノボパン工業株式会社

HAYASHI
林ベニヤ産業株式会社

夢がある。技術がある。
未来ができる。
OKURA 大倉工業株式会社

まちをつくる。くらしをつくる。笑顔をつくる。
三菱商事建材株式会社

FOOTWORK TEAMWORK NETWORKを活かして
HANWA
HK 阪和興業株式会社